総合

新潟県月岡温泉　白玉の湯泉慶・華鳳

サントリー商品の取り扱い拡大

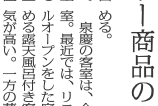
新潟県月岡温泉にある白玉の湯泉慶（白玉の湯）。全国屈指の硫黄成分含有量を誇る月岡温泉にあっても独自に掘削した源泉・白玉の湯は、「美人になれる温泉」と有名だ。美しいエメラルドグリーンの硫黄泉は、肌に優しく美肌や保湿効果に優れる。泉慶では、日本海側随一の広さを誇る大浴場などで、華鳳では、ウッドデッキで結ばれた両遊式の露天風呂などで楽しめる。泉慶の客室は、全110室。最近では、リニューアルオープンをした庭園を臨む露天風呂付き客室の人気が高い。一方の華鳳は、全108室。スタンダードルームでは、露天風呂付き客室の純和風の会席料理を味わいたい。

両館と併せ、華鳳別館・越の里では、料理だけではなく、飲料メニューの改善も進めている。その一環として最近、サントリー商品も取り扱いを増やした。また、飲料のグランドメニューも更新。このメニュー表は同社制作を担当した。ビールは、プレミアムビールの「ザ・プレミアム・モルツ（プレモル）」を提供。その理由は、「生」と「瓶」の両方を提供する。その理由は、プレモルのプレッシャーが差しことと、「飲料メニューの改善や、提供方法などをきめ細かく提案してくれる」ことが、必然的に選んだ」と常務の飯田武志氏。泉慶、華鳳を訪れる利用者は、地元客が約6割で、地元企業の宴会や、結婚式も多い。「宴席で出す料理はすべて同一料金で出しているので、高級ビールとして定着しているプレモルはお得感がある」とも。併せて、プレモルの生はその品質管理を徹底しているため「うまい」と評判だ。9月には泉慶、華鳳の従業員が、サントリーの品質管理セミナーを受講。生ビールのおいしい注ぎ方や、サーバーの洗浄方法などを学び、日々実践している。サントリーでは、生ビールの品質チェックや、そのレポートの提出まで行うほか、無駄なビールサーバーがあれば、その有無までを指南する。そのためオペレーションの簡素化にもつながった。

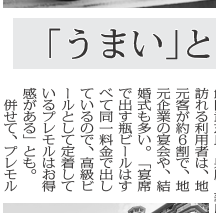
ウイスキーの角瓶を炭酸で割って出す「角ハイ」や、「こだわり晋翁のレモンサワー」も人気だ。角ハイの作り方は簡単。すでに角ハイとしてできている業務用の缶（160㎖入り）を冷蔵庫で冷やし、グラスに氷を入れて注ぐだけで出来上がる。レモンサワーは、専用ポンプでワンプッシュさせてソーダを注ぐだけ。「メニュー提供が早くなった。オペレーションが簡素化し、社員の働き方改革にも役立っている」と飯田氏。

越後の旬な食材を使った会席料理

ザ・プレミアム・モルツ（プレモル）



常務の飯田氏



華鳳の全景

「うまい」と評判のモルト

竹内美樹の 口福のおすそわけ 303

年越し寿司

年末札幌に行くと、店先に「年越し寿司で予約承り中」といったポスターが貼り出されている。年の災厄や借財を断ち切るための縁起ぎという意味がある。例えば門松は、家に幸をもたらすと関東人の筆者は思うが、札幌の知人に尋ねてみたら、大みそかには必ず飾り寿司を食べる習慣があるのだと言う。

そもそも年越し蕎麦は、江戸時代に定着したとされる習慣。その由来は諸説あるが、蕎麦が細く長く伸びることから延命・長寿を願ったものだという説と、他の麺類より切れやすいから今年一年の厄を断ち切るための縁起ぎという説が有力だ。だが、北海道などの年越し寿司は、食す理由が少々違う。

お正月には、歳神様を お迎えして年を取るという意味がある。例えば門松は、家に幸をもたらす歳神様に、迷わずいらっしゃいませ！と呼び掛けるための目印であり、鏡餅は歳神様が宿る依代である。そしておせち料理は歳神様へのお供え物で、これを食べることで神様からパワーを分けていただけると考えられていた。祝い箸が、両端が細い両口箸なのも、この「神人共食」の考え方に基づいている。

おせち料理を、大みそかに食す地域がある。昔は没によって日が始まると考えられていたので、大みそかの日没をもって正月が始まることになる。だから、かつては大みそかの晩に年取りの儀式として、日常ではなかなかお目にかかれないご馳走を食べたりしたりしていたのだ。

「年取膳」として食す習慣があったのだ。その豪華なお食事とおせち料理であり、年越し寿司である。

「年取膳」で白飯と酢の物、「笹の葉」、笹の葉の抗菌効果とシャリの酢の防腐効果で、通常より日持ちする。元々江戸前寿司は、冷蔵技術の無い江戸時代に生まれたため、ネタにも日持ちさせる工夫がある。「笹」は、東日本がサケで西日本がブリ。サケは「栄える」に通じるとされ、ブリは出世魚といったように縁起が良いとされる。

この「笹の葉」、笹の葉を生のネタを使わず、経験を生かし、旅館・ホテル、レストランのプロデュースやメニュー開発、ホスピタリティ研修を手掛ける。

さて、我田引水だが筆者が商品開発に関わった「笹の葉（登録商標）」は、江戸時代に定着したとされる習慣。その由来は諸説あるが、蕎麦が細く長く伸びることから延命・長寿を願ったものだという説と、他の麺類より切れやすいから今年一年の厄を断ち切るための縁起ぎという説が有力だ。だが、北海道などの年越し寿司は、食す理由が少々違う。

お正月には、歳神様を お迎えして年を取るという意味がある。例えば門松は、家に幸をもたらすと関東人の筆者は思うが、札幌の知人に尋ねてみたら、大みそかには必ず飾り寿司を食べる習慣があるのだと言う。

そもそも年越し蕎麦は、江戸時代に定着したとされる習慣。その由来は諸説あるが、蕎麦が細く長く伸びることから延命・長寿を願ったものだという説と、他の麺類より切れやすいから今年一年の厄を断ち切るための縁起ぎという説が有力だ。だが、北海道などの年越し寿司は、食す理由が少々違う。

お正月には、歳神様を お迎えして年を取るという意味がある。例えば門松は、家に幸をもたらすと関東人の筆者は思うが、札幌の知人に尋ねてみたら、大みそかには必ず飾り寿司を食べる習慣があるのだと言う。

大谷山荘「高付加価値戦略」学ぶ

リョケン　164回旅館大学セミナー開講

旅館・ホテルの設備投資や改装工事、社員研修、販売促進などのコンサルティングを行うリョケン（静岡県熱海市、佐野洋一社長）は、大谷山荘長の大谷山荘（静岡県熱海市、佐野洋峰一氏が「大谷山荘の高付加価値戦略」（顧客志向と高質化へのこだわり）」、同副社長の大谷和弘氏が「同門湯本温泉の五谷山荘」で「旅館大学セミナー」II写真IIを開講した。164回目となるセミナーには、全国から旅館経営者、幹部ら約100人が参加。長門湯本温泉の目指す風景」をテーマにそれぞれ講演した。

大谷社長は、高質化へのこだわりとして①山草の花のおもてなし（山野草講座）などを行った。

会場となった大谷山荘は、時代の変化に対応する投資を続け、1～25室の大規模旅館であるながら個人旅行にも対応している。素朴な日本のおもてなしを表現する顧客本位の経営に取り組み、1室当たりの売り上げは年間250万円と高い水準で推移している。

セミナー初日の11日には、大谷山荘社長の大谷山荘県長門湯本温泉の大谷山荘で「旅館大学セミナー」を開講した。2日目の12日には、リョケンによる「令和2年付加価値戦略」（顧客志向と高質化へのこだわり）」、同副社長の大谷和弘氏が「同門湯本温泉の五つの客室」の各様性つを挙げた。また、時代観光まちづくり計画～みんなで創るまちづくり～」と「高質化へのこだわり」（28ライブ）5客室の客室」の五つの客室」の各様性つを挙げた。また、時代観光まちづくり計画～みんなで創るまちづくり～」と「高質化へのこだわり」（28ライブ）5客室の客室」の五つの客室」の各様性

施設（天体ドーム、ギャラリー、アコースティック付加価値戦略）の紹介。

次回の旅館大学セミナーは、7月14、15日の2日間の日程で、新潟県月岡温泉の白玉の湯泉慶・華鳳で開催される。

稲城の観光施設巡り

稲城市観光協会　JAF東京支部　モバイルスタンプラリー開催

東京都稲城市観光協会と日本自動車連盟（JAF）東京支部は12月16日、スマートフォン限定イベント「いなぎを巡るモバイルスタンプラリー」を開始した。五つの観光施設内にスタンプスポットを用意し、稲城市への誘客、観光促進を図る。2月16日まで。

イベントは、今回が2回目の開催。稲城市内にある①いなぎ長信景地ペアテラス②薬師窯高おか③imaccocoffee④よみうりランド⑤よみうりランド丘の湯輝（いてる）の五つのスタンプポイントでデジタルスタンプを集めるもの。三つ集めた人の中から抽選で、同市にまつわる商品がプレゼントされる。

参加は無料。JAFに入会していない人も参加できる。

JAF東京支部と稲城市観光協会は、稲城市観光協会は、地域振興に関する協定を締結している。

漢江の人工島で「光祭り」を開催

韓国・ソウル

韓国・ソウルでは12月1日から、漢江に浮かぶ人工島・セビソムで、輝く光に眼を込めるイベント「第2回セビソムイルミネーション光祭り」＝写真＝が開催されている。今回は、「ピピット・ドリーム・カムトゥルー」がテーマ。銀色のイルミネーションがセビソム一帯を照らす。3月31日まで。

光祭りは、毎日日後6時から午前0時まで行われる。入場は無料。会場ではイルミネーションのほか、「どんどんミミズク」「天使のエンゼル」など30種類以上のフォトゾーンが設けられている。

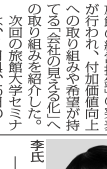
日本勤務歴8年の李碩雨氏

大韓航空　日本地域本部長に就任

大韓航空は12月20日、同日付で日本地域本部長に李碩雨（イ・ソグン）氏が任命したと発表した。李氏は、1993年に大韓航空に入社し、本社、日本地域で営業部門と総務部門の経験を積んだ。

「日本は当社が最も早くから就航している重要市場。私にとっても思い入れの深い日本地域の本部長に就任でき、光栄に思っている」と李氏。

前任の金茂氏は、韓進観光の社長に新たに就任している。



李氏

田発着で、料金は大人1人2万9990円から。初日は、箱根ガラスの森美術館や箱根神社など箱根エリアを散策後、夕方に花火を観賞し、ザ・プリンス箱根芦ノ湖で宿泊。2日目は、芦ノ湖畔メガ・ツアーリズムオリジナルツアー「箱根芦ノ湖ホワイライト花火」のツアーを催行した。ツアーに参加した約850人が参加。夕日が沈む赤焼けの空に15分間花火を打ち上げ、参加者を魅了した。

箱根芦ノ湖ホワイライト花火は今回で55回目の開催。真っ暗になる前のホワイライトタイムに花火を打ち上げ、観客は船上などから観賞する。

同社のツアーの中でも人気を集めた企画は「箱根ガラスの森美術館のクリスマスのガラスの花に煌めく冬の五回　箱根・芦ノ湖ハイライト花火」。貸切船で臭物の日間　神奈川・横浜、東京・町田発着で、料金は大人1人2万9990円から。

箱根芦ノ湖冬花火

約850人が参加

クラブツーリズム

クラブツーリズムは12月22、23日、神奈川県・芦ノ湖で花火を観賞するクラブツーリズムオリジナルツアー「箱根芦ノ湖ホワイライト花火」のツアーを催行した。ツアーに参加した約850人が参加。夕日が沈む赤焼けの空に15分間花火を打ち上げ、参加者を魅了した。

箱根芦ノ湖ホワイライト花火は今回で55回目の開催。真っ暗になる前のホワイライトタイムに花火を打ち上げ、観客は船上などから観賞する。

同社のツアーの中でも人気を集めた企画は「箱根ガラスの森美術館のクリスマスのガラスの花に煌めく冬の五回　箱根・芦ノ湖ハイライト花火」。

今後は箱根エリアを散策後、夕方に花火を観賞し、ザ・プリンス箱根芦ノ湖で宿泊。2日目は、芦ノ湖畔メガ・ツア